

P



上勝小学校 2025 No.1 人権教育だより



上勝小学校は、「心豊かに たくましく 生きぬく力を育む」という学校教育目標達成をめざし、毎日の学校生活の中で「一人ひとりを大切にされた教育」を進めています。人権教育においても、本校が掲げるめざす子ども像の育成をめざし、学校全体で取り組んでいます。

人権とは…

人権とは「**すべての人が生まれながらにもち、自由で平等に生きていくための権利**」です。

- ・健康で安全な生活がしたい。
 - ・自分の個性や能力を発揮したい。
 - ・目標や夢に向かって進みたい。
- きっと誰もが願っていることです。



また、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」が人権尊重です。

人権を尊重し守るためには、自分がまわりの人の生活を見つめ、心豊かな人間関係づくりを進めていくことが大切です。

進級おめでとうございます！

4月8日、新学期がスタートしました。新しい学年、新しい教室、新たに決まった担任の先生、新しい教科書。何もかもが新しく、子どもたちはいきいきと輝いていました。きっと新年度への期待とやる気に満ち溢れていたことでしょう。「楽しい学校にしたい」「楽しい生活を送りたい」という思いは、どの子にもあります。そのためには、人の気持ちを考えるなど、相手の立場になって行動できる子どもを育てていかなければなりません。

子どもたちが、安心して生活ができるよう家庭、学校、地域が力を合わせていきたいと考えています。ご協力よろしく願いいたします。

2名の友だちが増えました



4月9日、2名の新生が入学しました。ご入学おめでとうございます。新生一人ひとりが大きな返事をし、姿勢良く、椅子に座っていました。「ありがとうございます。」のお返事も、とても上手に

できました。



1年生が入学し、全学年がそろった上勝小学校の学校生活が始まりました。新入生のみなさんが、1日も早く学校生活に慣れ、不安なく、友だちと楽しい生活が送れるよう、努力していきたいと思います。



教科書無償の制度について



小学校に入学しても、学年が上がっても、「教科書代」は必要ありません。小・中学校の「教科書代」が無償になった背景には、人権教育が大きく関わっています。

1961年、当時の教科書は有償でその負担は家計に重くのしかかっており、教科書を買うお金がなく、教育を受けたくても受けることができない子どもたちがたくさんいました。高知県で部落差別と闘っていた地域のお母さんたちは、先生や町の人たちと一緒に「教科書をただにする会」を結成し、市や県と交渉を重ねました。

この運動は多くの市民の心を動かし、全国へと広がっていきました。その結果、1963年に法律ができ、1969年にやっと全ての小・中学校の教科書が無償になりました。人権問題を解決するための運動が、全ての人の権利を守り、生活を高めていくことになった素晴らしい例です。教科書にきちんと名前を書き、大切に使い、一生懸命勉強することが大切だということをご家庭でもお子さんにお話してください。このことは教科書だけに限らず、物を大切に使うことや自分や周りの人の人権を大切にすることにつながっています。

